

理事会便り

第1回理事会 (6月16日 総代会会場)

議決事項

1. 理事長、副理事長及び専務理事の互選について

標記の件下記のとおり議決しました。

理事長 桑原龍太 (代表理事)

副理事長 川島俊也

専務理事 稲葉壮二 (代表理事)

事務局長 矢吹美樹



第2回理事会 (6月29日 本部会議室)

議決事項

1. 理事の役割分担

2012年度組織編成方針に基づき、2012年度事業計画を執行するために、理事の役割分担を決めました。

2. 藤沢福祉事業所開設場所の仮確定について

藤沢地区に福祉事業所開設をすすめるために、その開設場所を確定し、オーナー交渉に入ることを決めました。

3. 「藤沢・伊勢原事業所を創る会」の設置について

藤沢地区と伊勢原地区に新たな事業所、及び高齢者住宅の開設をすすめるために、地区の組合員で「創る会」を設置することを決めました。

4. 役員報酬規則の改定について

県の検査指導に基づき、「この規則の前規程である理事報酬規程と監事報酬規程を廃止する」を規則に明記することを決めました。

5. 役員退任慰労金の支給について

桐山前副理事長の退任慰労金額と支給日を決めました。

報告事項 (主な報告より抜粋)

1. 育児・介護休業規程の制定について

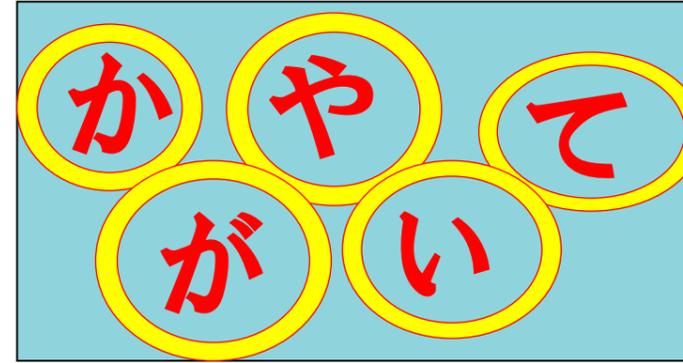
育児・介護休業法に基づいて、標記規程を6/29責任者会議で確認後、制定することの報告がありました。7月1日より施行します。

2. 常勤職員の給与科目の整理について

給与規程の改定までの当面の措置として、判り難くなっている給与科目を整理することの報告がありました。7月の給与より改定します。

3. 夏の賞与の支給について

常勤職員1.5ヶ月、非常勤職員0.5ヶ月を、7月13日に支給することの報告がありました。



神奈川県高齢者生活協同組合ニュース「かがやいて」 2012年7月号 NO.143

発行責任者 桑原 龍太

〒231-0047

横浜市中区羽衣町2-7-10 関内駅前マークビル5階

Te1045-663-8825 Fax045-662-9662

kanagawa-coop@kanagawa.koureikyou.or.jp

<http://kanagawa.koureikyou.or.jp>

第7回通常総代会 6月16日開催

理事会提案の9議案全てが可決されました



代を迎えています。こうした状況の中で、高齢者生協が目指している、高齢者同士がお互いに助け合って、孤独な一人ぼっちの高齢者をなくそうという活動は今後一層重要になっていきます。しかし残念ながら、この点では、神奈川県高協もまだ十分な成果を挙げているとはいえません。介護事業だけでなく、もっと広い側面からの高齢者援助を、どう広げていったらいいのか、組合員同士の交流、地域の人たちとの交流をどうやって実現し、その輪を広げるのが今後の大きな課題となっています。

このように厳しい環境ではありますが、皆さんの御努力によりこの1年間、生協は目標どおりいかなった点はあったにせよ、一定の成果を上げてきました。経営的にもかなりの黒字を達成しています。これからの1年も、この成果を引き継ぎ、活動を改善しながら発展させて、大きく前進させましょう。



理事長あいさつ

桑原 龍太

現在、私たちは、去年の東日本大震災、福島原発事故などの後処理の問題、また現在国会審議中の消費税増税問題など、庶民の生活にとって大変困難な時



可決された議案

- 第1号議案 2011年度事業報告・決算関係書類等承認の件
- 第2号議案 2012年度事業計画・及び予算決定の件
- 第3号議案 日本生活協同組合連合会への加盟決定の件
- 第4号議案 総代選挙規約改定の件
- 第5号議案 役員選挙規約改定の件
- 第6号議案 役員選任の件
- 第7号議案 役員報酬決定の件
- 第8号議案 役員退任慰労金支給の件
- 第9号議案 議案議決効力発生の件



議長の廣瀬さん、小林さん
お疲れ様でした。

来賓のご挨拶

神奈川県生活協同組合
連合会 専務理事
丸山 善弘 氏



去年の3月11日から1年3ヶ月が経過をいたしました。あの惨事、今もなお困難な事態を広範囲に多くの人たちに強いております。本当に被災地の復興支援では大変息の長い支援が必要であります。この間の原子力行政に典型的にみられるように、この社会の歪みを少しでも私たち自身が正していくことについても、合わせて考えていきたいと思います。私たちの暮らしから社会の動きをつかみ、必要な声をしっかりあげていくことを、今まで以上にしていかななくてはならないと思います。

来賓のご挨拶

日本高齢者生活協同組合
連合会 専務理事
坂林 哲雄 氏



高齢協連合会は今年の6月2日の福岡の総会で原発の再稼働に反対する特別決議と、もうひとつは社会保障と税一体改革についても、初めて反対する特別決議をしました。もちろん小さな力ではありますが、やはり言わなければと総会で決議を致しました。元気な高齢者がますます元気になるようなそういう社会をつくることが高齢協にとっては重要なことだと思います。

新しい職員で～す

ケアステーションいさと通所介護事業所



ドライバー 加藤さん
ヘルパー 柳沢さん
ドライバー 高井さん

5月からドライバーとして、朝のお迎えと夕方の送りを担当しています。今までは一般企業の事務職でしたが、65歳の定年を迎え、地元での仕事を探していたところ、ケアステーションいさどでお世話になることになりました。

初めのうちは、ご利用者様の住居と名前が覚えられず、また曜日によって送迎ルートが違うので戸惑いました。しかし先輩スタッフの暖かいご指導により、ようやく慣れてきたところです。

6月には、ヘルパーとして柳沢芳江さん、ドライバーとして高井克彦さんも入職しました。これから新人3人、力を合わせて、ご利用者様が楽しく、安心してご利用できるよう頑張りますので、よろしくお願ひします。

加藤 祐司

神奈川県高齢者生協の5月の経営報告

5月末の組合員数 1,928名

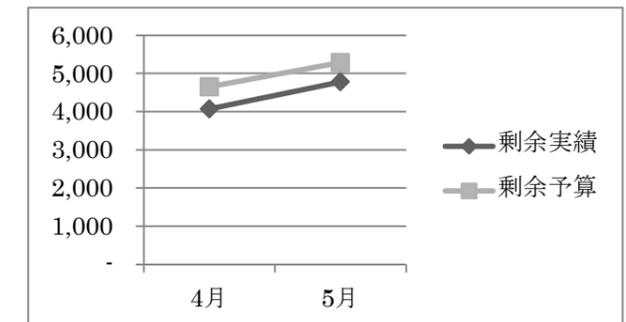
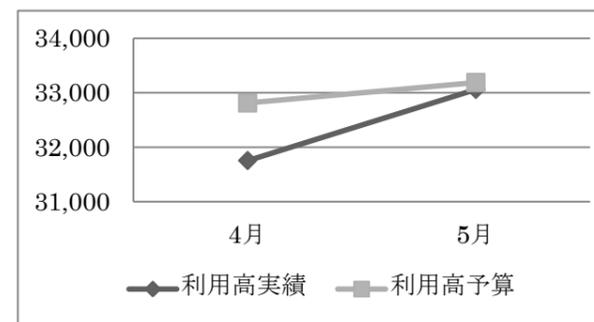
出資金額 2,980万円

5月利用高実績

実績	33,060千円
予算比	99.6%
前年比	110.8%

5月福祉剰余実績

実績	4,780千円
予算比	90.5%
前年比	74.7%



事業所だより・・・

ケアステーションいただ 通所介護事業所

伊勢原市板戸477-21
電話 0463-95-6878 Fax 0463-95-7610

利用者さんと職員の寄稿

研修会に参加して



「認知症の理解とケア」の研修に参加しました。研修の内容で、いくつか事例が紹介され、身近にある事例として感じました。その方のことを考えながら、どのように対処したら良いかを学びました。

短い時間でしたが、沢山の事を学びました。介護は技術も必要だと思いますが、一番大事なことは、相手を知り、その方をいかに理解し、受け入れてあげられるかが大切であると思いました。

学んできたことをしっかりと、今までよりも、もっともっと利用者様と信頼を築き、より安心して頂けるような介護をしていけるように頑張りたいと思います。

鳥海 悦子

梅の枝

つばみ一配

花期近し

庭のボケ

二羽で良く来る

目白かな

高く伸び

風にゆらるる

猫柳

古山 みゑ子

元気な高齢者大募集

元気で働ける方・・・高齢者生協の定年は75歳、まだ働ける方はさらに働けます。

福祉有償運送事業の運転手、訪問介護のヘルパーなど。

有償ボランティア・・・犬の散歩、ゴミ出し、お庭の木々の剪定・草取り等。

得意分野を教えてください「講師」・・・ハイキング・山登りの講師、絵手紙・絵画・布草履などの講師。ジャンルは問いません。

お問い合わせは、神奈川県高齢者生協本部 ☎045-663-8825

総代の発言 (要旨)



福祉移送と訪問介護事業の相乗効果

訪問介護や自立支援の利用者から、通院や外出にあやとりから毎回同じドライバーが来てくれるのでとても安心、またタクシーより安いので大変喜ばれています。視覚障害の方々との繋がりによってさらに利用者が増え、同行するヘルパーの活動も増え、他の事業所で視覚障がい利用者を担当していた方が、あやとりのヘルパーとして雇用につながったりで、事業の前進に大きく相乗的な効果を発揮しています。



藤沢地区に介護保険適用事業所を創ろう

6年前に福祉有償運送事業を立ち上げ、90名の利用者となり、地域から一定の信頼を得ている。高齢者生協の理念の実現と、藤沢地区の組合員の期待と活化のために、介護保険適用事業所を創りたい。その第一歩として、2級ヘルパー講座を成功させた。



石井 貴史 氏 伊勢原地区総代

通所事業所での緊急泊りを、今年になって開始しました。3月から2名の通所利用者にご利用頂き、今後も2名の予約を頂いています。緊急泊りを行うことにより、新たな課題や改善すべきことも明らかにになり、一つひとつ改善しながらすすめています。

大山 靖弘 氏 藤沢地区総代



質問と意見

- ① 組合員のメリットがないので、メリットを策定し、アピールした方が良いのでは。
- ② 組合員のニーズは、どのような方法で調査したのか、あるいはするののか。
- ③ 剰余予算達成率は77%であるので、役員報酬も77%の減額が妥当ではないか。



古山 大三郎 氏 川崎北地区総代

生協の課題をもっと鮮明に
我々高齢者をめぐる最大の問題があります。介護保険料や後期高齢者医療保険の問題、年金引き下げや消費税の増税の問題などです。もっと具体的に高齢者の生活にどう影響をおよぼすのかという掘り下げた議論をしてほしいです。そして私たちに行動を提起してほしいです。



宮川 裕吉 氏 横浜地区総代

横浜地区における福祉移送サービス事業
私たちは、皆さまにご指導ご支援をいただきながら、今年の9月の登録を目標に、福祉移送サービス横浜事業所を立ち上げるべく、準備をすすめています。私たちはこの事業を積極的に展開し、利用者増をはかるとともに、横浜地区の組合員の増につなげたいと考えております。これからも、ますますご支援とご指導をよろしくお願いします。

第7回通常総代会議案に対する質問・意見への回答

専務理事 稲葉 壮二



第1号議案 組合員になるメリットが無い。よってメリットを策定し、メリットをアピールを。

回答：私たちの組織は、組合員が出資金を出し合って生協をつくり、自らが利用し運営している、組合員どうしの助け合いの生活協同組合であります。組合員メリットも必要ですが、それ以前に、生協に加入して利用して頂くのが原則である組織です。

以上のことを踏まえて、高齢者生協の組合員に加入して頂くには、ご指摘のように、加入したいと思われる魅力のある組織や事業所にすることが必要です。「魅力ある事業所」、「高齢者生協らしい事業所」づくりが今年の事業の最大のテーマです。このテーマを皆で追い続け、実践しましょう。この実践活動を2013年開催予定の実践活動交流会に持ち寄りましょう。

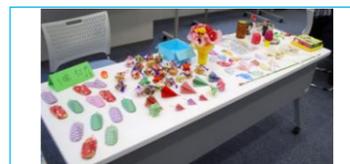
また、「元気な高齢者がもっと元気に」という合い言葉に基づいた活動や事業が大きく遅れています。元気な高齢者の活動と仕事起しを再構築していくことが、魅力ある生協づくりにつながることを考えております。2012年度の事業計画としてすすめます。

第2号議案 組合員のニーズをどのような方法で調査したのか、あるいはするののか。

回答：私たちの事業は、利用者・組合員のためにお役に立つことが目的です。そのためには、利用者・組合員のニーズをしっかりと把握することが大切です。地域と組合員、そして利用者のニーズに基づいて、高齢者生協としての事業所づくりを行うことが、組合員・利用者の暮らしに役立つこととなります。このニーズの把握の方法は、事業所毎に話し合っ頂き、しっかりと実践していきたいと思ひます。

第2号議案 高齢者をめぐる世の中の動きに対応した高齢者生協の課題が鮮明になっていない。

回答：ご指摘の通りと認識しております。介護保険制度の改定の際にも、この改定にともなって、事業をどうするか議論を当然すすめてきましたが、組合員・利用者にとってこの改定はどうかという評価の議論や、厚労省に対して要望を出す活動が出来ませんでした。これが当生協の組織としての到達点ではありますが、今後の課題として受け止めたいと考えております。私たちの生協の基本理念である「共生・平和・人権」にそって、私たちはこうした社会の動きの中でどうするかを考えて行きたいと思ひます。今回の総代会では、消費税増税に対する見解や行動方針を提起出来ておりませんが、今後組合員の皆さんと一緒に考え、出来るところから行動していきたいと思ひます。



総代会会場での手創り品の展示



退任された理事の福島さん、お疲れ様

第7号議案 2011年度の利益予算比は77%、2012年度の役員報酬は、前年比77%の513万円が妥当ではないか。

回答：事業剰余の予算比77%の結果は、大震災の備えとしてのインフラ整備と、事業所の設備改修、個人情報保護のための備品購入など予算外支出を政策的におこなったこと、また職員退職慰労金支給規程に基づいて、将来の職員退職金の支給に備えて退職給与の積立を行ったこと、賞与引当金の計上等によります。

役員報酬は前年に対して111%の伸びとなっていますが、会計処理の変更に伴うもので、従来非常勤理事に対して、理事会出席のつど「手当」を支給していたもの（2011年度は理事会運営費で処理）を変更して、年間5万円の役員報酬にしたことによります。理事会運営費は前年比49.8%となっています。2011年度の理事は17名ですが、2012年度は19名となります。理事長・副理事長・専務理事の報酬は2011年度と同じ額です。役員報酬を検討するに当たっては、経営の到達状況が前提にあることは当然のことですが、2011年度の経営の結果は、役員報酬を減額するものではないと判断しています。

ケアステーションたむら 通所介護事業所

事業所だよい・・・♪

平塚市四ノ宮 7-12-27

☎0463-52-1052

パワリハ新器機を導入しました！

6月4日（月）に初めて利用者様にお披露目となりました。新器機は、上肢運動2機種、下肢運動2機種の合計4台で全てコンパクトサイズの器機です。合わせて歩行訓練を助ける平行棒を新たに導入しました。また、新評価器機で体組成が判明するINBODY器機を導入しました。INBODY器機により筋力量と脂肪量が判明することから、結果を見て今後の運動の励みになっている様子が判ります。

もっと楽しいたむら通所を目指して、スタッフは頑張って行きたいと考えております。新器機導入は今後のたむら通所介護事業所のアピールポイントになると思ひますので、PRし地域貢献を果したいと考えています。

たむら通所介護事業所 綿貫 研志



大好評の新評価器。運動効果の測定として、骨格筋、体脂肪、筋肉バランスなどが測定出来ます。